

## 平成21年度第2回(第9回) 高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会

### 「高洲地区分科会」議事要旨

**1 日時** 平成21年6月22日(月) 10時～11時

**2 場所** 高洲コミュニティセンター 講習室1

### 3 出席者

(1) 委員

\*欠席委員：伊崎委員(代理出席者：柏木裕子氏)

岩村委員

(2) 事務局 古舘主幹、戎谷主幹、加茂主査、伊藤主査補、山崎主査補

(3) 傍聴 10人

### 4 議題

(1) 高洲第一小学校学校と高洲第二小学校学校の統合について

(2) 次回開催日時・場所について

### 5 会議資料

(1) 第8回高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

(2) 参考資料 統合校が開校する最短のケースと協議のスケジュール例

(3) 資料1 高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会これまで協議経過(6月1日版)

(4) 資料2 高洲第一小学校と高洲第二小学校に関する資料(6月1日版)

※資料1と2については、第8回で配布済み

### 6 協議の概要

#### (1) 高洲第一小学校と高洲第二小学校の統合について

参考資料、資料1、資料2をもとに、高洲第一小学校と高洲第二小学校との統合時期及び統合場所についての協議を行った。

○本協議会としての合意事項

①新設統合校を平成23年4月に開校する。

②統合場所は、高洲第一小学校の位置とする。なお、高洲第一小学校の改修工事の間は、高洲第二小学校を仮校舎として使用する。

この合意事項を当該小学校の保護者に伝え、意見聴取を行い、それをもとに再度「高洲地区分科会」を開催し、「統合に関しての要望書」の作成に向けて具体的な協議をすることとなった。

## (2) 次回開催日時・場所

平成21年7月13日(月)午前10時から、「高洲地区分科会」を高洲コミュニティセンターにて開催することとした。

## 7 発言要旨

### (1) 会長挨拶

本日は、統合に向けた具体的な話し合いを進めていただきたい。委員の皆様のご理解のない意見交換をお願いしたい。

### (2) 協議

#### 議題1 高洲第一小学校と高洲第二小学校の統合について

<池田議長>

協議すべき事項は、統合の時期と統合する場所についてである。まずは統合の時期について協議したい。初めに事務局に参考資料の説明をお願いする。

<事務局>

統合校が開校する最短のケースを参考までに資料としてお示しした。仮に平成21年度に統合等の「要望書」を教育委員会へ提出していただければ、平成22年度は1年間、準備期間に当て、平成23年4月に新設統合校として開校できると考えている。その際は、将来跡施設となる学校の校舎を使用して開校し、統合場所となる学校の校舎等を改修することになる。

花島小学校の事例では、平成17年5月に「統合に関する要望書」を教育委員会へ提出し、7月には統合準備会を発足し、翌年の平成18年4月に将来跡施設となる旧花見川第五小学校の校舎を使用して開校した。平成18年度から19年度の2年間で、統合場所となる旧花見川第四小学校の改修工事を行い、平成20年4月から改修校舎の使用を開始した。当時の教職員に聞き取り調査を行ったところ、「開校準備に半年余りしかなく、あわただしかった。」「もう少しじっくり交流期間が必要であった。」との声があり、教育委員会としても重く受け止めている。したがって、最低1年間の準備期間が必要であると考えている。

なお、「跡施設利用に関する要望書」は「統合に関する要望書」の提出の後、自治会、青少年育成委員会、社会体育団体等関係諸団体の意見を十分吸い上げる時間をとって、取りまとめていただきたい。

今年度の協議のスケジュールは、平成23年度に統合校を開校すると考えた場合の例として示している。

<池田議長>

今の説明をもとに、統合時期について協議をお願いしたい。保護者会としてはどうお考えか。

<森 委員>

現在、これという意見は言えない。協議の結果を踏まえ、保護者に伝えて意見を吸い上げたい。

<毛塚委員>

本日の分科会の結果を保護者に伝えたい。現在高洲第二小学校にある特別支援学級は、統合によりどのようになるのか、特別支援学級のお子さんについては、特に環境が変わることによる影響等に配慮していかないといけないだろう。

<岩川委員>

高洲第三小としては、本日の協議や今後の状況を保護者に報告することが大切だと考えている。

<伊崎委員代理（柏木氏）>

他の学校と同様である。協議の結果を保護者に伝えたい。

<原田委員>

統合は何年以内にした方が良いとかという理由があるのか。

<事務局>

これまでの協議において、高洲第一小学校学校、高洲第二小学校学校の保護者や地域の方からは、早く統合した方が良い（統合のメリットが大きい）という声が多かったと思う。そうした状況を踏まえて話し合っていたきたい。

<尾坂委員>

高洲第一小学校の校舎内を見たが、かなり老朽化しているとの印象を持った。そのような状況を考えても早く統合したほうが良いと思う。

<比護委員>

統合するメリットが大きいということで協議が進んでいるので、なるべく早く行うことが適当ではないか。

<徳留委員>

自治会としては、この統合の問題については早く進めてほしいという考えである。跡施設となる学校に2年間通うことについては地元ではまだ十分理解されていないので、保護者や地域に早めに伝えた方が良いでしょう。

<安達委員>

この問題は、やはり保護者の意見を尊重して進めていくべきだと考えている。十分に話し合い、できるだけ早く決めてほしい。決まれば、自治会としても全面的にバックアップしていきたいと考えている。ムードは悪くないので、校舎をきれいにしてもらい早く良い教育環境にしていくべきだろう。

<岩川委員>

未就学児の保護者へはどのように情報を伝えていくのか。入学後に「統合します」と言われるよりも前もって説明をした方が良いでしょう。情報提供を行ってほしい。

<事務局>

本協議会の協議内容はホームページ等でも公開しているが、今後決定された事項については教育委員会の責任のもと、周知を図りたい。

<池田議長>

統合時期については、保護者代表の皆様から各学校の保護者におろしていただき、意見を吸い上げて次回の会議で決定したい。

<事務局>

協議会の案として、統合時期を決めてから保護者におろした方が良いと思うがいかがか。

<森委員>

今日の協議内容や統合時期について等、どういうことを保護者におろしたら良いのか、はっきりとわかった方がありがたい。その上で、必要ならばアンケート等も考えられる。

<原田委員>

例えば「平成23年4月に統合校開校」という協議会としての方向性を決めて、それをおろして保護者の意見を聞かないと、保護者としても答えようがないだろう。

<池田議長>

確認するが、協議会としては「統合時期は平成23年4月とする」ことで良いか。

<一同>

了解。

<比護委員>

保護者の方へ報告する際には、統合するメリットの具体的な事柄を示してあげた方が良いでしょう。クラス数が増えるメリット、子どもたちや先生の数が増えるメリット等を盛り込んで提示した方が良いでしょう。

<事務局>

前回配布した学校適正配置のリーフレットを全保護者に配布できるよう準備したい。この中には、適正規模にするメリットをわかりやすく示している。また、資料2の2ページにあるシミュレーションの表を併せて提示したい。また、参考資料にある、統合時期を平成23年4月にした場合の考え方や花島小学校の事例等も紹介したらいかがだろう。

<池田議長>

次に、統合する場所についての協議をお願いしたい。まず、事務局に補足説明をお願いする。

<事務局>

前回の協議会でもお話ししたように、高洲第一小学校と高洲第二小学校については、校地面積も校舎配置もほぼ同じである。運動場は、高洲第二小学校の方が若干広いものの、校舎は高洲第一小学校の方が余裕を持って建てている。耐震工事については、両校ともに未実施である。同じ棟の中でI s 値が違うのは、建てた順序等による相違である。

なお、統合校については、学校適正配置実施方針にも示しているように、リニューアルすることとなっている。通学距離はどちらの学校が統合校となっても、一番遠くなると思われる場所から歩いて約0.9～1.1kmであり、差はほとんどない。

<池田議長>

今の補足説明をふまえて、統合する場所についてのご意見をお聞きしたい。

<安達委員>

場所としては、両校とも近い。安全面も含めて高洲第一小学校の位置の方が良いのではと思う。仮に高洲第二小学校になった場合、高層の住宅からは通学にやや時間がかかるのではないか。高洲第一小学校は、地域としても見守り活動はしやすいと思う。自治会としては高洲第一小学校の位置に統合してもらいたいという意見である。

<比護委員>

防災関係についての差はあるのか。

<事務局>

小・中学校はすべて避難場所に指定されているが、それ以外の差はない。

<比護委員>

地域全体のバランス、防災拠点等の面から考えると高洲第一小学校の位置の方が良いのではないだろうか。高洲第二小学校が残った場合、やや偏りがでるような気がする。いずれにせよ、保護者の意見を尊重したい。

<毛塚委員>

まだ統合場所までは保護者の声を聞いていない。もしアンケートを取れば「自分の学校を統合校にしてほしい」となるであろう。

<池田議長>

協議会としての判断を決定していかないといけない。

<徳留委員>

地域としてみると、高洲第一小学校は「地元の学校」という意識があるだろう。

<篠塚会長>

地域の中のバランスから見ても高洲第一小学校の方が良いのではと考える。ただし、高洲第二小学校の特別支援学級には、高浜地区からも子どもたちが通学している。高洲第一小学校の位置にこの特別支援学級が移るとなると通学距離が若干長くなるので、配慮が必要だろう。

<池田議長>

協議会としては「統合校は高洲第一小学校の位置」としてよろしいか。

<一同>

了解。

<事務局>

特別支援学級の扱い、子どもたちへの配慮については、学校長とも相談し、今後十分に検討していきたい。特別支援学級については、各地域にバランスよく設置することにしており、現に高浜中学校には今年度から特別支援学級を設置した。小学校についても、その点を十分に勘案して検討しているところである。

## 議題2 次回開催日時・場所について

<池田議長>

次回の「高洲地区分科会」の開催日はいつが良いか。

<事務局>

高浜第二小学校に關係する保護者及び地域対象の説明会が7月18日に予定されている。その後に高洲・高浜地区の「全体会」を開催し、説明会の状況を報告するとともに、「高洲地区分科会」で決定した内容を「統合に関する要望書」としてまとめ、「全体会」で示す必要がある。そのことを考えると、次回の「高洲地区分科会」は、7月18日以前に開催できればありがたいと考えるがいかがか。

<池田議長>

7月13日（月）ではどうか。

<原田委員>

7月13日までに保護者の意見・要望等を吸い上げられることができるのか。

<毛塚委員>

事務局の方で資料を準備してもらえるのであれば可能だと思う。吸い上げる方法としてはアンケートが考えられる。

<原田委員>

アンケートというよりは、協議会で決定した内容を伝え、それに対する意見をとるということで良いと思う。

<尾坂委員>

協議会の決定事項として、保護者への報告とすれば良いだろう。

<事務局>

差支えなければ、高洲第一小学校と高洲第二小学校の保護者会長と相談して、保護者へ提供する共通の資料を用意したいがいかがか。内容としてはおおよそ、本日の協議会での合意内容、統合校がどのような状況になるのか、またこのことに対する保護者の意見が提出できるような体裁のものになると思う。

<比護委員>

話は変わるが、高洲第三小学校では海洋教室を今まで開催してきている。地域より講師を招くという企画は統合校でも可能なのか。

<事務局>

可能である。

<比護委員>

統合により保護者も増えてくることにより、様々な学校支援活動も可能になるだろう。地域の支援も受けやすくなるだろう。そういったこともメリットの例として示していくと良いのではないか。具体的なものとして、高洲第三小学校の活動の例を挙げてもらっても良い。

<池田議長>

次回の協議会の予定を確認したい。次回は7月13日（月）10時より、高洲コミュニティセンターで開催することよろしいか。

<一同>

了解。

<池田議長>

それでは、次回は7月13日（月）10時から12時、会場は高洲コミュニティセンターにて開催する。ご出席をよろしくお願ひしたい。なお、開催の日時については各組織の方にもお知らせいただきたい。また、この会は傍聴が可能なので、よろしくお願ひする。他になればこれで議事を終了したい。

### **(3) 連絡**

- ・議事要旨については、委員の確認を得た後、ホームページで公開することとなるが発言者名を入れて公開して良いか。（了解）
- ・議事要旨と本日の配布資料については、高浜地区の委員にも配布する。
- ・欠席の場合には事務局へ事前に連絡をいただきたい。代理を立てることも可能なので、その際はそれも併せて連絡してもらいたい。
- ・先ほど、高洲第一小学校と高洲第二小学校の保護者には、本日の協議内容に関する資料を作り、「適正配置リーフレット」とともに提供することとしたが、高洲第三小学校と高洲第一中学校の保護者にも、「保護者会だより」等で本日の協議内容を報告する際に、「適正配置リーフレット」をお配りいただいたらいかがだろうか。

### **(4) 閉会**

<篠塚会長>

皆様には、貴重な時間をいただき、真摯な協議ありがとうございました。本日、話し合われたように、平成23年4月の統合校開校に向け、各委員の協力を得て進めていきたい。